ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E1421023	音楽鑑賞法Ⅱ (Method of Music AppreciationⅡ)		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫	後学期	木3	日本語		単独

担当教員	氏名　松田　聡 E-mail　matsat@oita-u.ac.jp　内線　7616
授業の概要	「音楽鑑賞法Ⅰ」を踏まえたうえでの応用編であり、映像を伴う様々な音楽表現や、多様な音楽ジャンルを対象とした鑑賞の仕方についての授業を行う。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	音楽の多様な鑑賞の仕方の可能性を説明できる。		○		○				
目標2	映像とともに音楽を鑑賞する方法を説明できる。		○		○				
目標3	様々な音楽ジャンルそれぞれにふさわしい鑑賞の仕方を説明できる。		○		○				
目標4									
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
		各DPへの関連度（計10）	4		6				

授業の内容	
1	授業ガイダンス
2	映像を用いた鑑賞(１)：導入：視覚と音楽との関わり
3	映像を用いた鑑賞(２)：オペラ(１)：鑑賞の基本
4	映像を用いた鑑賞(３)：オペラ(２)：音楽とドラマの関係の理解
5	映像を用いた鑑賞(４)：オペラ(３)：様々な演出の理解
6	映像を用いた鑑賞(５)：バレエ
7	映像を用いた鑑賞(６)：映画における音楽(1)：ミュージカル映画
8	映像を用いた鑑賞(７)：映画における音楽(2)：音楽を題材にした映画
9	様々な音楽ジャンル(１)：導入：音楽の諸ジャンルについて
10	様々な音楽ジャンル(２)：日本の伝統音楽(1)：古代、中世
11	様々な音楽ジャンル(３)：日本の伝統音楽(2)：近世
12	様々な音楽ジャンル(４)：諸民族の音楽
13	様々な音楽ジャンル(５)：ポピュラー音楽(1)：ジャズ
14	様々な音楽ジャンル(６)：ポピュラー音楽(2)：ロック
15	様々な音楽ジャンル(７)：クラシック音楽

アクティブラーニング					
	A:知識の定着・確認	○	ワークシート等の記入を通じて、授業の理解度を確認する。	その他の工夫	録音・映像資料による音楽鑑賞を多く取り入れる。
	B:意見の表現・交換	○			
	C:応用志向				
	D:知識の活用・創造				

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	次回の内容を予告するので、関連する作品鑑賞をしておく（20ｈ）。
	事後学修	各回で取り上げた作品を、再度、自主的に鑑賞する（25ｈ）。
	想定時間合計	

教科書	教科書は指定せず、資料を配付する。
参考書	授業中に適宜、指示する。

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業への参加度	40%	○	○	○							
	試験	60%	○	○	○							
	全授業回の３分の１以上を欠席した場合や試験が未受験だっが場合は単位を認めない。											

注意事項	初回に授業についての基本的な説明をするので、受講希望者は必ず出席すること。
備考	なし。
リンク	
URL	